



# 帰国生の学校選び A to Z

●第43回●

受験の負担が軽く、  
年内に入学先決定、海外で受験できる学校も

中学・高校入試のピークは2月ですが、帰国生入試では11月～12月にも入試があります。早い時期に入学先が決められますし、英語や作文、面接のみで受験ができる学校もあり、受験の負担が軽いのも魅力です。さらに、海外で受験できる学校もあります。

一方、新渡戸文化、名古屋国際のように入試日を定めず、希望に合わせて受験できる学校もあります。中高一貫校の場合は高1の4月入学でも編入学となりますので、入試日を定めていない学校が目立ちます。また、文京学院大学女子(北米入試)、桐蔭学園(A方式)、鎌倉学園(A方式)、名古屋国際(学校長推薦)のように書類審査のみという学校もあります。

このような入試では、第1志望であることや、現地校での好成績や英語力を証明する書類を求められる場合もあります。詳細は、募集要項をご確認ください。

11月～12月入試を行う主な高校:立命館慶祥、函館ラ・サール、茗溪学園、土浦日本大学、かえつ有明、関東国際、国際基督教大学、芝浦工業大学、桜丘、順天、品川エトワール女子、文化学園大学杉並、神田女学園、実践学園、宝仙学園、文京学院大学女子、トキワ松学園、自由学園、明星学園、目白研心、広尾学園、聖徳学園、オイスカ、藤枝明誠、同志社国際、立命館宇治、大阪女学院、関西学院千里国際、明德義塾など。

上記の内、北米の都市で受験できる学校:茗溪学園、宝仙学園、同志社国際、立命館宇治、関西学院千里国際など。

上記の内、英語・国語・数学の3教科以外で受験できる主な高校:茗溪学園(英語と面接)、かえつ有明(英語と作文・面接)、関東国際(調査書と作文・面接)、国際基督教大学(書類審査と面接)、文京学院大学女子(英語と作文・面接)、明星学園(小論文・英語と作文・日本語と面接)、同志社国際(書類審査と小論文・面接)、立命館宇治(書類審査と作文・面接)、関西学院千里国際(書類審査と作文・面接)、明德義塾・B方式(作文と面接)



執筆者:丹羽 筆人 (名古屋国際中学校・高等学校 アドミッションオフィサー北米地域担当)

河合塾での指導経験を経て米国ではCA・NY・NJ州の補習校・学習塾にて指導。現在はデトロイトりんご会補習授業校講師。代表を務める「米日教育交流協議会」では、日本語・日本文化体験学習「サマーキャンプ in ぎふ」を実施。他に、河合塾北米事務所アドバイザー、文京学院大学女子中学校高等学校 北米事務所アドバイザー。

お問い合わせ先: E-mail nihs@ujeec.org

Phone & Fax 855-669-9300(名古屋国際)